

施策評価表

平成29年度分

① 施策コード	2・2・3					
② 施策名	サービスの総合的推進体制の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	元気高齢者の割合				-	- □
④ 現状と課題	<p>◆ 本市は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0%）や宮城県（22.3%）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。</p> <p>◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。</p> <p>◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。</p> <p>◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。</p>			施策の内容	<p>行政をはじめとする関係者間の連携・協力のもと、支援を必要とする高齢者に適切なサービスを継続して提供していくための仕組みである「地域包括ケアシステム」を構築して適切に運営することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための体制整備を推進します。</p>	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
地域ケア会議開催回数	回	11	9	5	6	19	22	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度	30年度(計画)	31年度(計画)
	1,128	310	10,237	5,285	4,760

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議推進事業は、困難事例の課題解決や、地域課題の把握と解決策の検討につながった。 ・在宅医療・介護連携推進事業は、8つの事業全てについて、協議・検討を行い、医療・介護関係者の連携強化を図った。 ・生活支援体制整備事業は、コーディネーターの配置と関係者による協議の場を設置し、生活支援体制整備に向けて協議する環境が整備された。ふれあいサロンについて地域資源を「見える化」できた。 ・介護基盤整備事業は、介護施設等の整備に関する事業量を見込み、補助金をスムーズに交付することによって、介護サービス提供体制の整備の支援につながった。 	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議推進事業は、新たに国のモデル事業も活用し、介護予防を目的とした多職種によるケア会議を実施するとともに、引続き、地域課題の解決策の検討を行う。 ・在宅医療・介護連携推進事業は、職能間の意見交換会等を開催し、関係者が連携しやすい環境整備を進める。 ・生活支援体制整備事業は、生活支援コーディネーターとともに、現状や地区ごとの課題を把握し、対応策を検討する。 ・介護基盤整備事業は、国・県の情報をすばやく把握し、介護保険事業所へ情報提供するとともに、事業所の施設整備に関する事業量を見込み、安定した介護サービス提供体制の整備に努める。 	
---------	--	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】